

参議院選挙まであと4か月。内外情勢と国会論戦のなかで、自民党政治の「2つのゆがみ」に正面から切り込む日本共産党の値打ちが鮮明になっています。県議会 2025 年第 1 回定例会も 2 月 25 日に開会、3 月 19 日までの日程で来年度予算審議が行われています。

来年 2026 年 3 月の県知事選挙も見据え、以下の日程で質問にたちます。インターネット生中継は、「石川県議会 生中継」で検索してください。

●一般質問:3月6日(木) 午後1時40分～(午後2番目、質問20分)



《質問の柱(予定)》

1. 能登半島地震・奥能登豪雨の被災者支援

みなし福祉避難所での支援策、仮設住宅の環境改善、障害を持つ被災者への支援活動、被災した外国人労働者への対応、なりわい再建補助金の活用と観光支援、奥能登公立4病院の今後、住民の「自治の力」に依拠した復興、他

2. 地震の初動対応検証中間報告について

地震の被害想定のがさ、道路啓開計画がなかったこと、温かい食べ物の提供、広域避難の在り方

3. 国民健康保険税(料)の値上げ中止を

県国保運営協議会は令和14年に「納付金ベースの統一」を掲げ、市町は来年度保険税(料)の値上げ方針

4. 金沢港の軍事利用につながる「特定利用港湾」指定について、他

佐藤県議紹介の 請願

- 高額療養費改定の凍結を求める意見書採択 (提出：県社保協)
- 選択的夫婦別姓導入の国会審議を求める意見書採択 (提出：新婦人県本部)
- 志賀原発の廃炉を (提出：原発を考える女性の会)
- 深刻な介護保険制度の改善を (提出：介護福祉利用者と家族の会、他)

日本共産党提出の 意見書

- 1.消費税減税を求める
- 2.温室効果ガスの削減目標に関して
- 3.米の安定供給の保障を求める

